

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271101471		
法人名	社会福祉法人のぞみ会		
事業所名	グループホームのぞみの杜		
所在地	〒851-2126 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷1578 (電話) 095-887-3333		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成21年2月26日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】 (20年 12月 31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和 <del>平成</del> 13年 12月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1 階建ての 1 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,000+実費 円
敷 金	有 ( 円)	( 無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	- 円	昼食 - 円
	夕食	- 円	おやつ - 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要 ( 12月 31日現在 )

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名
要介護3	1 名	要介護4	1 名
要介護5	- 名	要支援2	- 名
年齢	平均 85 歳	最低 63 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	西田医院 百合野病院 荒木歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

スタッフは、ご利用者9人9通りの暮らしの支援を目指されています。ホームは、住宅地に隣接した場所にあり、周りの木々への野鳥の飛来がご利用者を楽しませています。中庭を取り囲んだ廊下にはテーブルやイス等が準備され、ご利用者とご家族の歓談スペースにもなっています。日当たりの良い共用スペースでご利用者は、栄養素や色合いの他、食器にも配慮された食事を、スタッフと歓談しながら美味しく食べています。居室のカーテンやのれん、家具等のレイアウトからも、「9人9通り」の考え方が感じられ、どの居室もそれぞれ異なった趣になっています。そのような環境に、ご利用者とスタッフの笑顔が加わり、ホーム内は明るい雰囲気が保たれています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) <b>前回の評価結果に基づく改善活動が行われています。</b> 前回の評価結果は、今年度の事業計画に反映され、改善活動に取り組みられています。外部評価の機会を改善の機会と捉えた積極的な姿勢も見受けられます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) <b>スタッフ全員による取り組みには至っておりません。</b> 自己評価の結果はスタッフに回覧されていますが、評価活動は全スタッフでの取り組みには至っておりません。評価制度の意義の理解や業務の振り返りのためにも、自己評価へのスタッフ全員の関わりが求められます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) <b>二ヵ月に一回の開催が実現されています。</b> 開催頻度については、概ね2ヵ月に一回の開催が実現されています。会議議事録も整備されており、ホームと地域との相互理解の場にもなっています。開催方法にも工夫され、現場視察やご利用者との食事会なども行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) <b>苦情や意見を改善の機会と捉えた活動が見受けられます。</b> ご家族などからの要望や苦情について、積極的に聴取する姿勢があり、意見等について対応する仕組みも確立されているように見受けられます。行事への要望なども積極的に検討され活かされています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	<b>法人と共に積極的な地域との関係作りを目指されています。</b> 外部講師を招き、地域の方々向けに法人主催の講演会を開催するなど、地域への貢献活動に積極的に取り組まれています。保育所や障がい者施設との交流なども図られています。その他、地域のボランティア活動を応援する姿勢も見受けられ、地域福祉への貢献を目指した取り組みが見受けられます。

(別紙2-2)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、ご利用者のあるがままの生活を支援したいといった思いを基本に、「9人9通りの生き方の支援」といった文言を掲げ、ご利用者の暮らしと心地良い環境づくりの支援を目指されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人全体の会議の中で、各部署の代表者等から決意表明を含む形で発表されています。その他、スタッフ一人ひとりに配付された手帳に記入され、スタッフはそれを常時携帯されています。各種ミーティングの中での周知活動も行われています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方による紙芝居、習字教室の開催の他、食事の後片づけなどへの協力もあり、小・中学生の職場体験学習の受け入れなども行われています。その他、広報誌で老人会や地域ボランティアを紹介したり、お役立ち情報を掲載した便りを自治会に配布されたりしています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果については、事業計画に含めた上で改善活動に取り組まれています。しかし、自己評価については、全スタッフの関わりには至っていない状況です。今回については、自己評価の結果を回覧するに留まっています。	○	自己評価については、サービス内容の振り返りの機会と捉えた全スタッフでの取り組みを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、認知症の特性やホームの活動内容の説明、ホーム内の視察やご利用者との食事会なども行われており、地域の関わりの必要性などについても説明されています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町との情報交換は、長与町ケア連絡会やグループホーム連絡協議会等で行われている他、お知らせや書類提出などで、月に1~2回程度役場を訪ね、担当者とのコミュニケーションを図られています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族への報告は、面会時の口頭報告の他、二カ月に一回のグループホーム通信を活用し行われています。スタッフの離職などについても掲載され報告されています。介護計画についての報告も介護計画への同意の署名で確認できます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口や第三者委員などの苦情対応体制については、契約時に説明されています。ご家族からの意見や要望については、面会時などに聴取に努められ、報告書を作成の上、対応策の検討が行われています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの要望を踏まえた柔軟な勤務調整に努められ、働き易く成長できる環境整備を目指されています。リフレッシュホリデイ制度やストレスケアに関する勉強会なども行われています。スタッフの異動が生じた場合には、スタッフ間で、ご利用者への影響を軽減するための検討を行い対応されています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育訓練手順により年間研修計画が作成されており、介護技術基準に基づき定期的にスタッフの評価が行われています。法人内の研修会のほか、ホーム内での研修会も開催されています。外部研修は、スタッフの自主性を尊重した希望申込制度が設けられており、助成金制度もあります。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長崎市や長与町グループホーム連絡会、ケア会議など他のホームとの交流を深める機会があり、その中の行事などにスタッフが参加する機会も設けられています。しかし、グループホーム間の相互訪問や勉強会などといった積極的な取り組みは見受けられません。	○	グループホーム間の相互訪問など、より積極的な活動を期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、ご本人やご家族及び介護支援専門員、看護師などとの情報交換が行われています。状況に応じてご家族やご利用者によるホーム見学も行われています。その際に得られた情報は、利用開始直後の支援に活かされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、ご利用者との関係を「人と人との関係」と捉え、共に学び支え合い、喜怒哀楽を共感できる関係作りを目指されています。ご利用者の感謝の言葉や笑顔に癒されながら、スタッフは日々の支援に従事されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者間の会話やスタッフとの会話などから汲み取られた意向は、申送りやモニタリング、カンファレンス時に検討され支援に活かされています。今年度より基本シートを改良され、より細部の情報まで活かせるよう工夫されています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用開始時には、その前に得られたご本人・ご家族・介護支援専門員・看護師などからの情報を基に一カ月の暫定プランを作成し対応されています。その後、カンファレンスが開催され、観察などにより得られた情報を基に介護計画が策定されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画はモニタリングされ、3ヵ月毎にカンファレンスでの見直しが行われています。観察を重視し得られた情報は各種シートに記録され、介護計画の見直しにも活用されています。必要に応じた随時見直し時にもカンファレンスにより介護計画が見直され、些細なプラン変更時には、伝達ノートや会議による周知が行われています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、馴染みの美容室やお店、住み慣れた場所や教会など、その人にとって関係の深い場所を訪れる支援が行われています。車イスでの外出対応や手紙の代筆など、柔軟な支援も見受けられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、ご本人やご家族の希望に沿った対応をされています。受診や往診、状態報告や相談など、かかりつけ医との連携が図られ、介護計画も提供されています。医療的な情報は個人ファイルに保管され、ご家族への報告にも活用されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りに関する指針は整備され、ご家族への説明も行われています。ご本人やご家族の意向を大切にされ、段階的な説明や関係者との方針共有に努められています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として、お一人おひとりの人格を尊重する支援を心掛けられています。居室の入口にのれんを施されるなど、設備面での工夫も見受けられます。個人情報保護に関しても、その利用目的が掲示され、同意も得られています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	9人9通りの生活の支援を実現するために、日常的な気付きや様々な情報を基に、その人らしいペースでの生活を支援するよう努められています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を通して「豊かさ」「健康」「楽しい暮らし」につながる支援を目指されており、季節に応じた食事メニューや伝統的なメニューなど、色や匂いを大切にし、ご利用者の要望にも応えながらの支援を心掛けられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴の曜日が定められていますが、ホームでは「その人が入りたい時、入れる時が入浴日」と位置付けて支援されています。無理強いせず、みかんの皮やゆず、菖蒲など、季節に応じた天然の素材を活用した入浴支援が行われています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	「やってみようかな」「出来るかも知れない」を感じていただく場面作りを大切に考えられています。調理や洗濯、ゴミ捨てやガーデニングなど、ご利用者は希望や状況に応じた役割や楽しみごとに取り組まれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の八百屋さんへのお出かけやゴミステーションへのゴミ出し、ホーム周辺へのドライブや外食など、その日の状況に応じた支援を心掛けられています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関に鍵はかけられていません。外出は、基本的に観察や見守りにより対応されています。安全のため玄関にセンサーが設置されていますが、ご利用者の状況やスタッフの配置により、センサーのスイッチを切られる時間帯も設けられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の職員連絡網が整備され、火災訓練は夜間想定も含め年に2～3回程度実施されています。法人のスタッフ内に地元消防団員もおられ、協力体制もあるとのこと。災害時には、隣接する施設からの協力も得られる状況にあります。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今年度は、栄養素のサンプリング調査を実施され、不足しがちな栄養素を把握した上で、献立の改善につながられています。15品目以上の食材を使用されるなど日常的な栄養バランスへの配慮もうかがえます。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物内の中庭を中心とした廊下にテーブルやイス、ソファなどが設置されており、それぞれが好きな場所で過ごすことが出来るよう配慮されています。季節の飾り付けが施された共用スペースは、開放的で清潔に保たれています。季節的なことや日当たりなどに配慮したテーブルの配置も見受けられます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の居室には、ご利用者の好みの色のれんが施されています。カーテンも季節に応じてかけ替えられ、家具の配置などもご利用者の状況に応じてレイアウトされています。馴染みの家具や好みのものを置き、心地良い環境づくりの支援が行われています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。